

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度の事業は、平成 28 年 3 月 29 日に開催された第 17 回理事会において決議された事業計画及び予算に基づき実施した。

また、研修事業では事業計画及び予算の補正を行い、平成 28 年 9 月 20 日開催の第 20 回理事会の承認に基づき事業を実施した。

なお、各事業内容は以下のとおりである。

1. 研修事業

(1) 各種研修会事業

当会が主催し、私学関係団体の協力・実施で 69 回の研修会を学校種別で以下のとおり開催した。

- ・ 大学関係 26 回 (参加者 4,200 人)
- ・ 短期大学関係 7 回 (参加者 1,007 人)
- ・ 高校、中学校関係 11 回 (参加者 7,723 人)
- ・ 小学校関係 8 回 (参加者 4,570 人)
- ・ 幼稚園関係 17 回 (参加者 12,244 人)

(2) 海外研修事業

海外研修審査委員会において、15 人を研修員として決定し、研修を実施した。

(3) 基金等事業

公益性を目的とした研修事業として、私学教職員研修基金を財源とした事業を実施した。

- ・ 総合学習 5 月 5 日のこどもの日に「作って遊ぼう『こどもの日』」体験講座を実施した。(参加者 248 人)

※ 国内研修事業・在校研修事業・研修成果刊行等事業は、諸般の都合により休止とした。

2. 福祉事業

本年度は、私学会館本館等改修工事に伴い、平成 28 年 7 月 1 日から 9 月 4 日までの 66 日間を全館休館とし、福祉事業収入においては大幅な減少となったが、エレベーターの更新をはじめ、宿泊客室の個別空調化、宴会場調光設備の更新、厨房床の全面塗装及び一部調理機器の更新、レストラン一部店舗の内装更新など、安全・安心な料理・サービスの提供と、より快適な空間の提供に向け、大きな前進を果たした 1 年となった。これにより、リニューアルオープン後は順調な営業成績が得られた。

また、改修工事による各種設備・機材等の更新のほか、老朽化した機材・備品の修繕にも注力し設備の改善による顧客満足度の向上に取り組むとともに、顧客に対するセールス活動を強化した。広告宣伝においては、WEB サイト・紙媒体とともに、視覚的に訴求効果の高い宣伝媒体の作成に取り組み、新たな利用者の掘り起こしを図った。

本年度も安全・安心な料理・サービスの提供を第一とし、事故の予防、業務改善に取り組み、全国私学の中央センターとして、また地域のランドマークとして、利用者からの信頼と評価をいただける会館運営に努めた結果、平成 28 年度の福祉事業部門利用総人数は 519,627 人となった。

(1) バンケット（会議・宴会・ケータリング業務）

私立学校、私学教職員、私学関連団体等の会議・研修会・総会及び懇親会等の開催場所として、また、一般企業・法人・団体等の各種行事等の開催場所として利用を承るバンケット業務の利用総人数は、330,444 人となった。

(2) レストラン業務

私学関係者、近隣住民・勤務の方々、各種会合・宿泊等の会館利用者の方々の飲食・会合の場としてご利用いただいているレストラン業務の利用人数は、163,883 人となった。

(3) 宿泊業務

私学関係者の出張及び各種会合に付帯するご利用に留まらず、多くの一般の方々にもご利用いただいている宿泊業務の利用人数は、25,300 人となった。

(4) 売店等（売店業務、駐車場業務）

会館内利便性向上のため、郵券・煙草他各種物品・菓子類等の販売及び宅配便取扱業務等を行った。